

# わだち



夏休みも半分以上が過ぎました。みなさん、どのようにおすごしでしょうか。心と体の休養はとれていますか。今回は

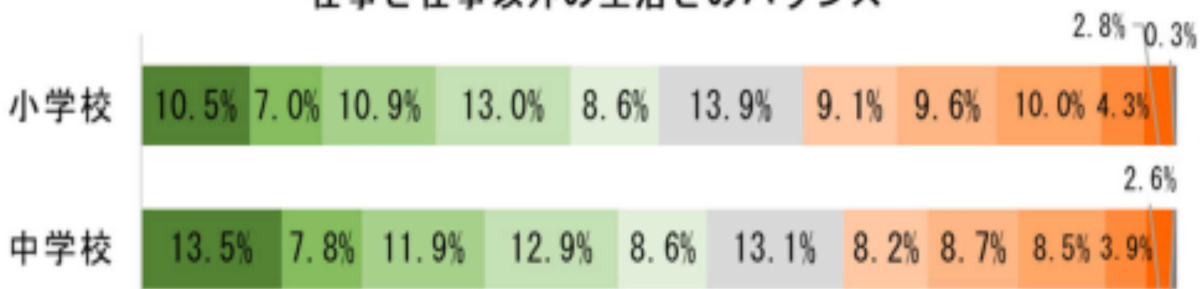
- 1 「教職員の生活満足度調査（一部抜粋）」の結果分析 教員勤務実態調査（令和4年度）の集計（速報値）
- 2 特に気になる箇所について（仕事と仕事以外のバランス）の考察です。2については私の経験もお話ししながら、みなさんといっしょに考えていければと思います。

## 仕事と生活のバランスとれていますか。

- 1 「教職員の生活満足度調査（一部抜粋）」の結果分析では、
  - 「生活（様々な面から総合的に判断して）」、「仕事（様々な面から総合的に判断して）」、「雇用の安定性」、「教師としての仕事そのもの」、「給料以外の待遇や処遇（福利厚生など）」、「あなたは、現在の年収についてあなたが暮らす地域の他の職と比較して、どう感じていますか」については、満足している者の割合の方が、満足していない者の割合よりも高い。
  - 「仕事と仕事以外の生活とのバランス」については、満足していない者の割合の方が高い。このような結果になりました。
- 2 特に気になる箇所について（仕事と仕事以外のバランス）の考察

■0 ■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■無回答

※0: 全く満足していない～10: 非常に満足している。  
仕事と仕事以外の生活とのバランス



※上記は、校長、副校長・教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師、養護教諭、栄養教諭の平均値。

仕事と仕事以外のバランスとは「ワークライフバランス」のことをいいます。ワークライフバランスとは、仕事と生活のバランスをうまくとることです。これがとれていないと思う教職員が小学校では約64%、中学校では68%で、小中学校ともに60%以上を超えています。特に「全く満足していない」と回答した教職員が小中学校ともに10%以上です。これは他の質問項目が「全く満足していない」のそのほとんどが5%以下なのに対してこの質問は特出して高いです。このことについてどう考えますでしょうか。

私自身も38年間の内、50代前半までは朝早くに出勤し、帰ってくるのが夜8時を下回ったことがなかったように思います。学習指導、生徒指導、部活動にその力のすべてを注ぎ、帰ってくると寝るだけという毎日でした。特に苦しかったのは成績評価の時期で個人情報重視されるようになってから自宅への持ち帰りができなくなり、この時期は夜中11時を超えることも多々ありました。今はITCの活用で書き込む手間が減りました。そして、評価も主観的な評価も加味しなければいけません。客観的な評価はアプリが自動的につけてくれる時代になりました。それでも教職員の仕事と生活のバランスがとれていない現状は変わっていません。これをどのように考えますか。何がそうさせているのでしょうか。みなさんと一緒に考えさせていただければうれしく思います。

## 夏休み無料「わだち相談（自分らしさ発見相談）」のご案内

この夏のテーマは「自分らしさの発見」です。先生方一人一人が自分の個性や能力を生かして、自分らしく生きていくお手伝いを自称「小学校教員の自分らしさ応援サポーター」の私に手伝わせていただけませんかでしょうか。

連絡先は下記まで連絡をください。

[norix7364@wave.plala.or.jp](mailto:norix7364@wave.plala.or.jp)（小文字）または 090-7426-3034

午後8時～9時まで無料で相談に応じます。下記アドレスまで相談内容、相談日（相談日は第2希望まで記入してください。）を入れてメールまたは携帯に連絡してください。折り返し ZOOM によるミーティングIDとパスワードを送付させていただきます。皆さんに会える日を楽しみに待っています。